

南部・東部地域振興対策特別委員会記録

開催日時 令和2年3月6日（金） 16:21～16:25

開催場所 第1委員会室

出席委員 9名

秋本登志嗣 委員長

中川 崇 副委員長

亀甲 義明 委員

西川 均 委員

田中 惟允 委員

国中 憲治 委員

今井 光子 委員

森山 賀文 委員

川口 正志 委員

欠席委員 なし

出席理事者 前阪 南部東部振興監

杉山 農林部長

山田 県土マネジメント部長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 2月定例県議会追加提出予定議案について

<会議の経過>

○秋本委員長 それでは、質問があれば、ご発言願います。なお、質問は、追加提出予定議案の案件に限らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○川口（正）委員 追加予定議案については予算委員会に付託されると思いますので、予算委員会に委ねることとして質問はありませんが、先日の秋本委員長の本会議における質問に対して検討という言葉が出てきたが、これからは使わないでいただきたい。努めますと言ってもらいたい。何のために皆さんは働いておられるのか。検討しますというと、今まで何もしていなかったのかと。たくさん我々は問題を投げかけている。努めてもらって

いるはずなのに、検討という言葉を知くと、がたつとくるわけです。物事は自助、共助、公助という三位一体がある。何が優先で、ポイントをにぎって物事を進めるのかということが、都会と田舎とでは違ふ。機材があつても人がいない、人がいても機材がないというのは財政にはつきものですが、検討、検討というとな今までなにもしていなかったのかとなる。努めながら物事が組み立てられているはずです。組み立てが中途であつても検討と。今まではこう考えてきた、新しい提案があつたからさらに積み重ねます、努力しますということはわかるが、改めて検討するというのは違ふ。議案とまるほど私、やじを言うかもしれませぬけれども、検討という言葉は聞きたくないということだけ弁明しておきます。秋本委員長に代わつて発言いたしました。

○秋本委員長 ありがとうございます。やじはあまりとばさないようにお願いしておきます。

他になければ、これをもちまして質問を終わります。

これで、本日の委員会を終わります。